

流動性に係る経営の健全性の状況

流動性リスク管理に係る開示事項

(1) 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

流動性リスクとは、必要な資金を確保できず、資金繰りに支障をきたしたり、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされて損失を被るリスクをいいます。

当行では、流動性リスクを銀行の根源的なリスクと認識し、正確な資金繰りの把握および安定的な調達・運用に努めるとともに、市場の流動性を十分に注視した厳格なリスク管理を行うことを基本方針として、「流動性リスク管理規程」に各部署の役割や責任などリスク管理体制やリスク管理の方法などを定めています。

具体的には、市場国際部が資金繰り管理部門として、市場環境、資金化可能資産残高、予想される資金流出額などの把握・管理を行うとともに、日次で資金繰り逼迫度の状況や資金ポジション等を経営陣およびリスク統轄部署である経営管理部に報告しています。経営管理部は資金繰り管理部門の管理状況をモニタリングするとともに、資金繰りの状況について定期的にALM委員会に報告しています。

また、流動性カバレッジ比率についても、その算出ならびにモニタリング体制等を構築し、日次で経営陣に報告しています。

(2) 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

資金繰り管理部門では、各業務部門からの報告等に基づき、資産・負債、オフバランス取引から生じる満期区分別の資金流出・流入額の把握に努め、資金化可能資産やレポ取引による調達可能額、中央銀行からの借入可能額などを日次で管理することにより、資金繰りの状況をその逼迫度に応じて3段階（平常時、懸念時、危機時）に区分して管理しています。

加えて、資金繰りに影響を及ぼすと予想される「予兆項目」として、預金流出額、大口調達先の動向、資金調達の難易度、当行の株価・格付等に基準値を定め、日次でモニタリングしています。

資金繰り逼迫度の判定方法および予兆項目の数値基準等については、半期毎にALM委員会で協議のうえ、流動性リスクに係る各種限度額とともに業務運営計画として常務会で策定しています。

また、預金の流出や当座貸越の空枠の利用、市場調達の困難化等といった状況を想定したストレステストを定期的の実施し、流動性リスク顕在時の資金繰り逼迫度の評価に活用しています。

(3) その他流動性に係るリスク管理に関する事項

当行の運用資産のうち、一部については外貨建の貸出金および債券で運用を行っています。このため、外貨調達においては調達方法の多様化を図り、流動性リスクの削減に努めています。

流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

(1) 時系列における流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

連結流動性カバレッジ比率は前年同期比10.1ポイント上昇し、149.1%となりました。また単体流動性カバレッジ比率については、前年同期比12.5ポイント上昇し、156.3%となりました。

主な上昇要因として、適格流動資産の対象となる資産の見直しに伴う「適格流動資産の合計額」の増加があげられます。

(2) 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

連結、単体ともに、規制で求められる最低水準を上回って推移しており、流動性リスク管理上、問題ないと認識しています。

(3) 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産については、主に円貨建の国債などの有価証券および日本銀行への預け金で構成されています。また、海外拠点の流動性を確保するため、外貨建債券を中心に海外支店でも有価証券を保有しています。なお、当該流動資産の構成や所在地等について、著しい変動はありません。

主要な通貨において、算入可能適格流動資産と純資金流出額の間に著しい通貨のミスマッチはありません。

(4) その他流動性カバレッジ比率に関する事項

連結流動性カバレッジ比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しています。

なお、流動性比率告示で定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」およびデリバティブ取引等の時価変動時における所要追加担保額算出に用いる「シナリオ法」は、適用していません。

流動性カバレッジ比率（日次平均の値）の算出にあたり、日次データを使用しない主な項目は以下のとおりとなります。当該項目については、前月末時点のデータを使用しています。

- ・与信・流動性ファシリティに係る資金流出額
- ・偶発事象に係る資金流出額
- ・安定・準安定預金の判定及びリテール・ホールセールの判定を行う属性データ等

安定調達比率に関する定性的開示事項

(1) 時系列における安定調達比率の変動に関する事項

連結安定調達比率は前年同期比3.1ポイント下落し、122.6%となりました。また単体安定調達比率については、前年同期比3.0ポイント下落し、124.7%となりました。

主な下落要因として、ホールセール資金調達の短期化に伴う「利用可能安定調達額合計」の減少があげられます。

(2) 流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たす場合

流動性比率告示で定める「相互に関係する資産・負債の特例」は適用していません。

(3) その他安定調達比率に関する事項

連結、単体ともに、規制で求められる最低基準を上回っており、流動性リスク管理上、問題ないと認識しています。

連結安定調達比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、以下のように計算しています。

- 全ての負債および資本に係る額の利用可能安定調達算入率を0%とする。
- 全ての資産に係る額の所要安定調達算入率を100%とする。

流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

1. 連結流動性カバレッジ比率

(単位: 百万円)

項 目		2025年度第4四半期		2024年度第4四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	1,248,025		1,129,898	
資金流出額		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	4,372,600	330,104	4,322,886	325,968
3	うち、安定預金の額	1,534,767	46,043	1,523,154	45,694
4	うち、準安定預金の額	2,837,833	284,061	2,799,732	280,273
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,211,754	480,246	1,192,409	460,061
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券 以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,209,268	477,760	1,188,919	456,571
8	うち、負債性有価証券の額	2,486	2,486	3,489	3,489
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	3,082		2,980	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性 ファシリティに係る資金流出額	1,698,338	202,528	1,659,558	196,417
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	67,132	67,132	64,008	64,008
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,631,206	135,396	1,595,549	132,408
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	41,035	32,843	36,795	25,324
15	偶発事象に係る資金流出額	78,673	53,709	67,736	41,213
16	資金流出合計額	1,102,515		1,051,966	
資金流入額		資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	346,356	186,308	351,288	183,938
19	その他資金流入額	92,279	79,433	67,203	55,396
20	資金流入合計額	438,636	265,742	418,492	239,334
連結流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	1,248,025		1,129,898	
22	純資金流出額	836,773		812,631	
23	連結流動性カバレッジ比率	149.1%		139.0%	
24	平均値計算用データ数	58件		57件	

2. 単体流動性カバレッジ比率

(単位 百万円)

項 目		2025年度第4四半期		2024年度第4四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	1,248,025		1,129,898	
資金流出額		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	4,372,600	330,104	4,322,886	325,968
3	うち、安定預金の額	1,534,767	46,043	1,523,154	45,694
4	うち、準安定預金の額	2,837,833	284,061	2,799,732	280,273
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,218,931	487,423	1,199,608	467,260
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券 以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,215,250	483,742	1,194,454	462,106
8	うち、負債性有価証券の額	3,681	3,681	5,153	5,153
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	3,082		2,980	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性 ファシリティに係る資金流出額	1,699,796	207,429	1,652,794	199,689
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	67,132	67,132	64,008	64,008
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,632,663	140,297	1,588,785	135,680
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	20,750	12,557	19,043	7,572
15	偶発事象に係る資金流出額	78,665	53,702	67,718	41,195
16	資金流出合計額	1,094,301		1,044,666	
資金流入額		資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	380,700	216,669	370,913	203,563
19	その他資金流入額	92,280	79,434	67,205	55,397
20	資金流入合計額	472,981	296,104	438,119	258,960
単体流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	1,248,025		1,129,898	
22	純資金流出額	798,197		785,705	
23	単体流動性カバレッジ比率	156.3%		143.8%	
24	平均値計算用データ数	58件		57件	

安定調達比率に関する定量的開示事項

1. 連結安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		2026年3月期					2025年3月期				
		算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額	算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額
		満期なし	6月末満	6月以上 1年未満	1年以上		満期なし	6月末満	6月以上 1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額(1)											
1	資本の額	478,776	—	—	—	478,776	422,589	—	—	—	422,589
2	うち、普通株式等Tier 1 資本、その他Tier 1 資本およびTier 2 資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	478,776	—	—	—	478,776	422,589	—	—	—	422,589
3	うち、上記に含まれない資本調達手段および資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人および中小企業等からの資金調達	4,358,007	—	—	—	3,998,007	4,302,680	—	—	—	3,947,644
5	うち、安定預金等の額	1,516,025	—	—	—	1,440,224	1,504,642	—	—	—	1,429,409
6	うち、準安定預金等の額	2,841,981	—	—	—	2,557,783	2,798,038	—	—	—	2,518,234
7	ホールセール資金調達	1,127,633	631,485	449,212	428,078	1,302,636	1,123,388	570,591	275,599	671,670	1,461,405
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	1,127,633	631,485	449,212	428,078	1,302,636	1,123,388	570,591	275,599	671,670	1,461,405
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	198,814	8	—	—	—	170,557	217	—	—	—
12	うち、デリバティブ負債の額				—						
13	うち、上記に含まれない負債の額	198,814	8	—	—	—	170,557	217	—	—	—
14	利用可能安定調達額合計					5,779,420					5,831,639
所要安定調達額(2)											
15	流動資産の額					74,205					28,925
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	6,399	—	—	—	3,199	6,724	—	—	—	3,362
17	貸出金またはレポ形式の取引による資産および有価証券その他これに類するものの額	403,180	711,782	263,062	3,782,474	4,080,750	457,617	705,465	280,024	3,724,301	4,091,055
18	うち、レベル1 資産を担保とする金融機関等への貸出金およびレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金およびレポ形式の取引による額	—	95,471	26,957	239,471	267,270	—	63,126	17,603	253,254	271,525
20	うち、貸出金またはレポ形式の取引による資産の額(項番18、19および22に該当する額を除く。)	22,155	575,887	205,742	2,328,055	2,388,494	22,843	596,660	224,492	2,279,802	2,367,824
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	うち、住宅ローン債権	—	24,103	24,045	1,017,778	889,186	—	24,095	24,019	975,889	853,563
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	381,024	16,319	6,316	197,170	535,798	434,774	21,583	13,909	215,355	598,141
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	279,277	34,436	9,751	112,627	419,664	243,427	40,463	9,409	100,318	383,159
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—				—	—				—
28	うち、デリバティブ取引等または中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金または清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)				11,646	9,899				7,221	6,138
29	うち、デリバティブ資産の額				63,671	63,671				52,301	52,301
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額				537	537				476	476
31	うち、上記に含まれない資産および資本の額	279,277	34,436	9,751	36,772	345,555	243,427	40,463	9,409	40,319	324,243
32	オフ・バランス取引				1,716,440	133,540				1,699,378	130,146
33	所要安定調達額合計					4,711,360					4,636,648
34	連結安定調達比率					122.6					125.7

2. 単体安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		2026年3月期					2025年3月期				
		算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額	算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額
		満期なし	6月末満	6月以上 1年末満	1年以上		満期なし	6月末満	6月以上 1年末満	1年以上	
利用可能安定調達額(1)											
1	資本の額	478,776	—	—	—	478,776	422,589	—	—	—	422,589
2	うち、普通株式等Tier 1 資本、その他Tier 1 資本およびTier 2 資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	478,776	—	—	—	478,776	422,589	—	—	—	422,589
3	うち、上記に含まれない資本調達手段および資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人および中小企業等からの資金調達	4,358,007	—	—	—	3,998,007	4,302,680	—	—	—	3,947,644
5	うち、安定預金等の額	1,516,025	—	—	—	1,440,224	1,504,642	—	—	—	1,429,409
6	うち、準安定預金等の額	2,841,981	—	—	—	2,557,783	2,798,038	—	—	—	2,518,234
7	ホールセール資金調達	1,127,633	631,485	449,212	428,078	1,302,636	1,123,388	570,591	275,599	671,670	1,461,405
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	1,127,633	631,485	449,212	428,078	1,302,636	1,123,388	570,591	275,599	671,670	1,461,405
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	120,763	8	—	—	—	99,749	217	—	—	—
12	うち、デリバティブ負債の額				—					—	
13	うち、上記に含まれない負債の額	120,763	8	—	—	—	99,749	217	—	—	—
14	利用可能安定調達額合計					5,779,420					5,831,639
所要安定調達額(2)											
15	流動資産の額					74,205					28,925
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	6,399	—	—	—	3,199	6,724	—	—	—	3,362
17	貸出金またはレポ形式の取引による資産および有価証券その他これに類するものの額	403,180	711,782	263,062	3,782,474	4,080,750	457,617	705,465	280,024	3,724,301	4,091,055
18	うち、レベル1 資産を担保とする金融機関等への貸出金およびレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金およびレポ形式の取引による額	—	95,471	26,957	239,471	267,270	—	63,126	17,603	253,254	271,525
20	うち、貸出金またはレポ形式の取引による資産の額(項番18、19および22に該当する額を除く。)	22,155	575,887	205,742	2,328,055	2,388,494	22,843	596,660	224,492	2,279,802	2,367,824
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	うち、住宅ローン債権	—	24,103	24,045	1,017,778	889,186	—	24,095	24,019	975,889	853,563
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	381,024	16,319	6,316	197,170	535,798	434,774	21,583	13,909	215,355	598,141
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	201,227	34,436	9,751	112,627	341,614	172,618	40,463	9,409	100,318	312,351
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。)	—				—	—				—
28	うち、デリバティブ取引等または中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金または清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)				11,646	9,899				7,221	6,138
29	うち、デリバティブ資産の額				63,671	63,671				52,301	52,301
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額				537	537				476	476
31	うち、上記に含まれない資産および資本の額	201,227	34,436	9,751	36,772	267,505	172,618	40,463	9,409	40,319	253,435
32	オフ・バランス取引				1,716,434	133,533				1,699,351	130,119
33	所要安定調達額合計					4,633,303					4,565,813
34	単体安定調達比率					124.7					127.7